別 紙 2

世界記憶遺産登録記念式典の開催計画について

（案）

1　開催計画方針

世界記憶遺産に登録された山本作兵衛氏の炭坑記録画等は、本市や市民の財産であると同時に、ユネスコの世界記憶遺産保護の一般指針には「世界記憶遺産とは、・・・現在及び未来の世界共同体に残された過去からの遺産」とあることから、登録記念式典の開催計画方針としては、~~「市民・国内外・継承」　「作兵衛さんから世界、そして未来へ～～記憶の継承～」の３点を主眼に置くこととする。~~以下のとおりとする。

⑴　趣旨

平成２３年５月２５日、田川市及び福岡県立大学が共同で申請していた山本作兵衛氏の炭坑記録画等が世界記憶遺産として正式に登録されたことを受け、その意義を踏まえ、炭坑文化等に係る国内外への情報発信を積極的に行うとともに、今後は当該記憶遺産の活用を図り、田川市石炭記念公園を日本の炭坑文化の「聖地」として位置づけ、世界に誇れる炭坑文化の交流拠点として賑わいを創出し、さらに、本市の観光振興や地域経済の活性化など幅広く本市のまちづくりに繋げていく必要がある。

同時に、我が国の戦後復興と近代化産業の根幹を成した炭都田川の歴史的意義、炭坑文化等を次世代へ継承するため、山本作兵衛氏の炭坑の記録画等を通して歴史、文化等にふれる機会を設け、ふるさと「田川」への郷土愛、誇りや自信を持って、その価値を守り育んでいく機運の醸成を行うなど幅広く本市の人づくりに繋げていくことも必要である。

以上のことを踏まえ、この世界記憶遺産の登録に際し、市民の世界記憶遺産に対する共通認識の形成と記念式典を契機とした国内外への情報発信の推進、次世代への記憶の継承を目的として記念式典をとり行う。

⑵　テーマ

「作兵衛さんから世界、そして未来へ　～記憶の継承～」

「From Sakubei to the World, and to the Future　～ Inheriting the Memory ～」

２　主　　催

主催者については、登録を受けた記録画等を所蔵する田川市、福岡県立大学と本検討委員会とする。

≪主催者≫

田川市、田川市議会、田川市教育委員会

福岡県立大学

山本作兵衛氏の炭坑の記録画並びに記録文書の保存・活用検討委員会

（以下「検討委員会」という。）

３　共催・後援

共催・後援については、検討委員会委員の所属団体、報道機関等~~に共催・後援~~を中心に依頼する~~ことが考えられる~~。

≪共催・後援依頼先例≫

山本家、文化庁、九州国立博物館、九州大学、日本大学、九州国際大学、
九州造形短期大学、福岡県、福岡県教育委員会、福岡県議会、田川市区長会長、
田川市観光協会、田川文化連盟、田川商工会議所、田川地区進出企業協議会、
田川白鳥団地工業会、田川農業協同組合、田川青年会議所、田川郡町村会、
株式会社ＪＴＢ、福岡空港ビルディング㈱、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、
読売新聞西部本社、日本経済新聞社西部支社、社団法人共同通信社、ＮＨＫ福岡放送局、
ＦＢＳ福岡放送、ＴＮＣテレビ西日本、九州朝日放送、ＲＫＢ毎日放送、ＴＶＱ九州放送

４　日　　程

平成２４年５月１３日（日）　１３時００分　開演予定

５　会　　場

田川文化センター（福岡県田川市平松町３番３６号）